

平成24年度 第6回

川合市長と語り合うタウンミーティング

～ 山田地区 ～



日時：平成24年7月11日（水）

午後7時00分～8時30分

場所：川越市北部地域ふれあいセンター

参加者

自治会連合会山田支会、民生委員児童委員協議会、交通安全協会、交通安全母の会、青少年を育てる地区会議、子ども会育成会連絡協議会、子どもサポート委員会、山田小学校PTA、山田中学校PTA、山田公民館運営協力委員会、山田地区スポーツ振興会、山田地区文化クラブ協会、川越市消防団山田分団、川越市農業委員の皆さん 28名

出席者

市長、風間副市長、宍戸副市長、政策財政部長、総務部長、市民部長、福祉部長、建設部長、学校教育部長

意見数

分類	件数	内容	頁
保健・医療・福祉	1	夜間診療	20
教育・文化・スポーツ	1	未使用のグラウンドの整備	10
都市基盤・生活基盤	11	道路拡幅	3
		水路清掃	4
		歩道橋の設置要望の状況	5
		(仮称)川越東環状線	6
		通学路の水たまり対策	8
		下水道の整備	14
		道路の安全対策	16
		古川排水路の水害対策	16
		公園の設置	20
		公園美化活動の補助	21
初雁球場	22		
環 境	2	ごみ処理の有料化	23
		ごみの収集方法	23
地域社会と市民生活	10	通学路の安全対策	8
		グリーンベルト	8
		速度標識	9

		横断歩道の設置	9
		通学路の大型車両の通行規制	10
		火の見やぐらの撤去	13
		防犯灯のLED化	14
		自主防災組織への補助	18
		公民館・出張所の建て替え	20
		総合防災訓練の際の備蓄品の支援	23
計	25		

意見交換（要約）

《道路拡幅》

意見 先般、いろいろとお願いしてありました中学校の道路の件で、皆さんに大変前向きに検討していただいているわけですが、山田中学に関しましては、道路が狭い、それでなおかつ生徒の通り道と、それから、川越市の避難場所になっておりますけれども、いかんせん道路が狭くて、緊急車両といえますか、はしご車も入れないというような状態が今続いておまして、何とかこれを早急に道を広げていただいて、万が一のときには緊急車両、もちろんはしご車とかそのくらいのものは入れるようにしていただければすごくいいなと思っております。なかなかそれが前からお願いしてあるようなんですけれども、ここへきてにわかに山田小学校PTA、それから、山田中学校のPTAの皆さんのご協力のもとに、少しずつですが、前へ進んでいるように思っております。いろいろな災害とか、また地震とかとありまして、子供の命というものは地域の人が守ってあげなければまずいけないんじゃないかということが第一にありまして、ぜひ、道路の問題に関しては、せめて緊急車両が入れるくらいな道幅にしていただけたらありがたいなと思います。ぜひ1本でいいんですけども、ひとつそれをお願いしたい、それは大至急お願いしたいと思います。

今ここにテーマとして災害におけるということにも準じるものがあると思います。道が狭いと避難場所で山田中学校のほうへ近所の方は逃げなさいと言われても、道路が狭くて、いざとなると押し合いとかになりますと、やはり体の弱い人、お年寄りの人はどうしても端のほうへ追いやられる確率がありますので、お年寄りも全部二本足で歩ける人ばかりではありませんので、車いすとかそういう人たちもたくさんおいでになりますので、ぜひぜひ道路のほうは、市の財政も大変でしょうけれども、ひとつ早急に検討していただければありがたいなと思っておりますので、よろしく願いします。

市長 この間ご要望いただいた場所ですか。

意見 そうです。

市長 通学路ということでご要望いただいたと思うのですが。まずは何らかの、例えば一方通行にするとか、あるいは通学路として通学の時間については車が通れないようにするとか、そういうソフト面での対応をまずは考えていこうというような、そんな考えではなかったかと思うのですが。

建設部長 先だって市長へ要望されたときに私も同席させていただきました。

私も、実は20年間府川で暮らしておまして、山田中学には息子も大変お世話に

なっています。ですから、あの辺の状況というのはよくわかっているつもりでございます。

市長からのお話もありましたとおり、短期的に先に何かということであれば、今言ったような現在の道路を工夫して何か安全策を考えなければいけません。今、おっしゃったとおり、通学路と防災と両面の問題を抱えているということから、やはり大変重要性の高い道路だと思っています。具体的にいつ予算化ということはまだ至っておりませんが、重要性は十分認識しておりますので、また担当部局と地元の皆様方と実現に向けた協議、打ち合わせを改めてさせていただきたいと思っております。重要性は十分認識しております。

意見 ありがとうございます。

《水路清掃》

意見 南山田自治会に住んでいる者です。昨年、地区の関係で、山田小学校裏のほうに、東のほうに水がたまるということで1つ問題が出て、それに対して自治会として動いたんですけれども、そのとき感じたのは、今、西日本のほうで大雨で水害が出ています。そういった関係で、自動車の店舗を改装するというので、そのところをU字溝を掘ったんですけれども、そこが迂回するよということで問題が出まして。それで少し調べたんですけれども、254 バイパス、それと川越街道の間、そこに水がたまってしまうという可能性があるということで、市の建設部のほうに一応持ち上げたこともあります。その254のバイパスの下に雨水が流れるトンネルがあります。その整備を完全にしないと余計たまってしまうということが言われたものですから、このところで西日本なんかで大雨が降っていますので、できるだけ定期的に、その254バイパスの下の排水路ですか、その流れをよくしていただきたいなということをやっと提案したわけです。

市長 今の件は、店舗の建物の建て替えか何かで水路を付け替えるという、そういう話ですね。254の下を通っている水路だけではなくて、もうちょっと東側というのか、南東側に2本ほど下を通っている水路があって、そちらをきちんと整備、要するにヘドロとかそういうものをさらったり、ちゃんと流れるようにしておけば、コの字型に迂回をするような形になっても問題はないと聞いております。当面、この2つの水路については付け替えの申請があった時点で、掃除というか、流れをよくするようなことはやっていると聞いていたのですが、それを定期的にとというか、滞らないようにやっていたら大丈夫ではないかと考えています。

意見 私のほうもそういうふうには考えているんですけれども、やはり定期的にそうい

ったことをやってもらわないと、近くへ行くと、そこの新しく建った家が、普通は地べたから2、30センチのところ土台としてあるんですけども、その地区へ行きますと約1メートルくらいの土台を組んでいるんですね。「ああ、すごい上げていますね」ということなんですけれども、前に1回その道路で水が出たという部分もあるということなので、その辺を災害対策の意味からもよくやっていただきたいなと思います。

市長 わかりました。

《歩道橋の設置要望の状況》

意見 通学路に関係する件なんですけれども、私たちの府川と石田地区の子供たちが小中学校へ通うとき、登下校なんですけれども、山田の中でも一番交通量の多い254バイパスの横断をしないと通学できないということで、朝晩いろいろな交通整理とかやってもらっております。今、通学児童の列に車が突っ込んだりというようなことが全国でいろいろ発生しています。私たちの自治会で、昨年歩道橋をつけてもらえればというようなことで自治会長から請願をして、幸い、請願が認められたというような話は聞いております。自分たちとしては、そういう話になれば1日でも早くつくってもらいたいという希望があるわけなんですけれども、自治会の中でも何かにつけて、今どの辺まで話が進んでいるとか、そういう情報等も聞ければというようなことで。ただ、あそこの場所が国道ということで、市の行政のほうかどの程度かかわっているか、また、そういう情報を教えていただくような窓口があるのか、また、そういう場合はどうしたらいいのかというようなことがわかればと思ってちょっとお聞きしたいと思います。

市長 それは恐らく要望という形で出されたのではないかと思うのですね。要望という形で出されて、所管が国道をまたぐ歩道橋は市の問題ではないということで、あれは県でしたか。

建設部長 ちょっと不確かな話で恐縮ですけれども、手前ども建設部には直接その話はございませんで、ただ、情報として何か要望活動をしているというふうな話は聞いておりましたけれども、直接川越市は動いていないと思うのですけれども。

市長 ちょっと正確に調べて、また後ほどご連絡しますけれども、多分県の仕事になると思いますので。県に対してはそういうご要望が出たということで、お伝えして、かつ市の意見としてもつけていると思いますので、それが今どうなっているか、その辺についてはまた後日ご連絡させていただきます。

《(仮称)川越東環状線》

意見 ちょっと農家の立場で質問させていただきます。これからお尋ねする件なんですけれども、場所は福田地区から北山田を通りまして、府川地区を通過して、また石田地区のほうへ抜ける城西高校の前の254から県道までのその間です。いろいろお骨折りいただいて測量も一部終わっているようなんですけれども、何か向こうの府川県道寄りには一部の方の賛成がまだ得られてないというようなお話もちょうど伺いしております。その点について、最近、北環状も一部開通になりまして交通量が増えてきて、比較的道路の狭い割合に大きい車が通るんですね。そんな関係で非常に危険だし、また道路も壊れてきているようで、一部反対されている方等のその辺の進みぐあいといいますか、その辺をわかる範囲でお話しいただければありがたいなと思います。

建設部長 今現在、ご承知のとおり、福田、国道254の交差点から100メートルほどのところまでが交差点ぐるみの改良ということで既に終わっておりますけれども、それから、東に向けて県道栗橋線を超えるあたりまでをまず1期目の工事として実施するという測量を行っているところでございます。それと併せまして、測量というのは現状の平面図をつくるのと、プラス計画性を入れて、各お宅からどのくらいの用地を買収させていただくかとか、どのような工作物が支障になって、その補償費が幾らくらいになるのか、そういったものも含めまして検討しているところでございますが、今年度も一部分工作物の補償をさせていただく予定になっている場所もございまして、実際にはちょっとまだ目に見えた形で現場工事が進んでないものですから、全く進んでないのではないかと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、実は用地取得に向けて今現在も一生懸命頑張っているところでございます。

今後の一番のネック、ポイントといたしましては、(仮称)川越東環状線という呼び方をしておりますが、これと今言いました釘無橋からおりてきます県道栗橋線、あそことの交差点、当然あそこをただ交差するだけではなくて、交差するからには県道側にも右折帯を設けたりとか、県道側もかなり拡幅が必要になってまいります。そうなりますと、これは県道ですから、埼玉県さんのご協力もいただかなければいけないということで、あそここの交差点部分をどのような形にするかというところを埼玉県と協議に入るところでございまして、そういったところの検討も並行しながら、その県道までの測量作業、あるいは用地取得に向けた作業といったものを現在やっているところでございます。目に見えない形なものですから、大変ご心配をかけて申しわけないのですが、粛々と進めているところでございます。

それから、強い反対をいただいているということは私のところにはまだ特には届いておりませんが、ただ、当然こういった事業でございますので、手放しですべての方々が了解するというのはなかなか難しい話でございます、そういったことを十分承知の上で手前どもも動いておりますので、今後さらにそういった疑問を投げかけている地権者の皆様方には積極的に丁寧に事業の趣旨をご理解いただくように日参させていただきますようお願いしております。

意見　そうですか、できる限り早目の見通しを立てていただければありがたいなと思います。ありがとうございました。

市長　この道路については、芳野台工業団地から来る車がかなり多いですね。ですから、できるだけ早い時期に芳野台工業団地につながるまでのところは整備をしたいと、できるだけ早くと考えて始めたところですが、もともとの東環状の計画というのは県道として整備してもらおうという、そういう計画というか、予定だったようです。けれども、県のほうに働きかけてつくってと言っていたのではなかなか進まないというので、とりあえずはまずは254から釘無橋のところまでは市道、市の道路として整備しようということで手をつけ始めたところです。できる限り芳野台の工業団地も例の圏央道のインターになるべくアクセスがよくなったほうが工業団地としても助かるという面がありますので、その点については力を入れてやっていきたいと考えています。

意見　そうですか。この点についてはうちのほうへ来ていただいて、市長さんのほうからもこのお話をしていただいて、なるべく早めに実現していただくというようなお話をいただいております。

今、私が一部の方が賛同を得られないというようなお話も申し上げたのは、ここでもって2回に分けて道路についての説明会が開かれたんですよ。第1回の説明会はほとんど農地の話ですから全員賛成、2回目に開かれたときには大分建物を建てている方々もお集まりをいただいたようで、その方たちは現時点は賛成できないというようなお話をされたということだったものですから、先ほど市はそこまでの細かいお話は聞いてないというようなお話が出たようですけれども、実際問題としては建物が建て住んでおられる方は、かかる方はまだ現時点賛同は得られてないというようなお話も一部聞いております。その辺、今、市長さんが言われた釘無橋までおりてくる道路までは市の関係でやられているというようなお話をいただきましたので、一部反対者がいるようですから、その点はなるべく把握していただいて、早い時期にお願いできればというふうに思います。よろしく願いいたします。

《通学路の安全対策》

意見 今のことに関連してですけれども、朝ファミリーマートの信号のところへ渋滞が起きるんですよね。それで逃げる車というんですか、城西高校の前から堤防沿いに入りまして、釘無橋の下をくぐって、その道が近いものですから、そこを結構猛スピードで車が走るんですよ。一部通学道路になっていますよね。ですから、そこら辺を規制する方法はないかなと思ひまして、そういうのはどういうところへ市のほうで相談したらいいかと思ひまして。

市民部長 私ども所管でございます、市民部の安全安心生活課のほうに来ていただければ。

意見 あ、そうですか。では、自治会長さんのほうから行ってまいりますので。

市民部長 お待ちしております。古川排水機場のところですよ。

意見 あそこを通るに、あちらの生徒が、細い車が1台やっと通るような道を通学道路なものですから、そこがちょっと危ないものから。

市民部長 はい、わかりました。

《通学路の水たまり対策》

意見 通学路の水たまり対策なんですけど、八咫通りがあるんですけれども、川越毛呂山線と、それから、八咫通り、あそこに信号がありますけれども、あそこから北のほうへ向かって行きますが、あそここのところにU字溝の上にふたがしてあるんですが、そこがどうも雨が降った後水がたまってしまふ。調べたところ、水がたまらないところはふたに切りかけが少し入っているんですよ。そのために水がU字溝へ逃げる。ところが、水がたまるのは切りかけが入ってないものから水がたまってしまふ。あれ、ふたが相当重いものから、我々ではどうにもできないんですよ。多分切りかけさえ入れれば水たまりは解消できるんじゃないかなというふうに思ひますので、ぜひ調べていただいて、ちょっと対策をとっていただければなと。

建設部長 具体的なお話ですので、道路環境整備課というところが担当部署になりますが、今日住宅地図を持ってきていますので、後ほど場所と連絡先を教えてください、また改めて担当から連絡させますので、ぜひ現状をそのときにお話ししていただければと思ひます。

意見 わかりました。ありがとうございます。

《グリーンベルト》

意見 ちょっとお伺いしたいんですけれども、町なかで道路の両端にグリーンのベルトというか、ラインが入っていますね。あれは何か引く場合に基準はあるんですか。

市民部長 あれは市民部の所管でございますけれども、一応ご要望があれば、そのご要望に沿った形で警察との協議になると思います。やはり市民部の安全安心生活課で対応しておりますので、こちらに来てご要望していただければと思います。通学路対策ですか。

意見 実は私も地元は府川なんですけれども、最近ご承知のようにこの北側とか、市道が拡幅されて、大型車がかなり通るんですね。通学路もあるし、高齢者も散歩しているところがあるので、できればそういうグリーンベルトが引ければ、ある意味安全に注意できるのかなと思って。どこというのではないんですけれども、どこか試験的にやってみてはどうかなというような気もするんですけれども。

市民部長 お手数ですけれども、市役所のほうに来ていただいて、どこをこういうふうにやってほしいのかということによっていただければ、現場を見させていただいて対応を図らせていただきます。

《速度標識》

意見 住宅地内の速度表示、私どものところは川越市の開発公社でつくっていただいたところなんですけれども、今速度表示がないんです。道路と住宅と直接接していますので、歩道というのは遊びがないわけですね。そのために側道を相当スピードで通り抜ける車が多いんです。例えば30キロという表示をしていただくと随分違うと思うんですけれども。これから子供たちも増えて、年寄りも増えていきます。そんな関係で危険なんです。私の場合は20キロで走っておりまして、20キロはちょっと難しいかなと思うんですけれども、30キロ表示ならできるのではないかと思います。その辺いかがなものでしょうか。

市民部長 やはり市民部の所管でございます、場所は実際に今日示していただけますか。そうすれば、地図を持ってまいりましたので、その地図で調べさせていただいて、また回答させていただきます。

意見 はい、よろしくお願いいたします。

市長 速度標識を出すとか、それから、グリーンベルトをつけるとかというのは警察との協議で、どちらかと言えば警察の仕事なもので、警察とよく打ち合わせをしていかなければならないということをご承知おき願いたいと思います。

《横断歩道の設置》

意見 2点、ちょっとお願いというか、聞いていただきたいんですけれども、実はふれあいセンターのすぐその交差点、あそこに横断歩道をつけていただきたいという、この前の住宅の通学班の父兄さんから言われたんですけれども、あれはいかな

ものでしょうか、すぐそのうどん屋さんのところの交差点のところ横断歩道をつけていただきたいという声が出ているんです。

市民部長 今ご要望をお聞きしましたので、また警察と協議させていただいた上で、実際に横断歩道ができるかどうか。ただ、254へ抜ける道が狭いですよね、かなり。

意見 向こう側は狭いんですね。

市民部長 こちら側は広がっていますよね。あと奥に行く道もちょっと狭いですよね。そこら辺でちょっと警察との協議が必要ですから、ご要望としてお聞きしました。

意見 こういう立派な公共施設もありますのでね。ぜひお願いしたいです。

市民部長 わかりました。

《通学路の大型車両の通行規制》

意見 もう1点は、北山田なんですけれども、浄国寺の裏、あそこがこのバイパスと、今度北環状、あそこを抜けるので、浄国寺の裏が曲がっていて、結構通学の時間もわりかし車が入るもので。また、大型ダンプが多いんですよ。自転車で走っているとダンプがくると前から山が迫ってくるような感じなんです。あれじゃ子供ではなお感じるかなと思いますので、いかがなものか。通学時間をできたらありがたいんですけれども、あとできれば大型通行禁止とか、そういうものができれば。あの近所、ちょっと先へ行くと堰があるんですけれども、あそこあたりではダンプが通ると震度2か3と言われるんですよ。堰があるから余計段差がありますので、そういうことを聞きたいなと思って、住民のほうから出ていますので、すみませんが、いろいろ検討していただきたいと思います。よろしくをお願いします。

意見 今の件は、一応、一緒に小学校に行きまして校長先生とお話ししたんですけれども、学校のほうから教育委員会を通じて警察のほうへ出したほうがいいかなという話もありまして、夏休みが終わった後に、小学校のほうからそういう申し込みをするという話は出ております。ちょっとダブりますけれども。

市民部長 学校のほうに通学路関係はまとめていただいて、それでやったほうがいいかなと思いますので、よろしくをお願いします。

意見 そういう話になっております。

市民部長 はい、わかりました。今の横断歩道についても学校関係とお話が出ているのですか。

意見 そうですね、児童の保護者の人からそういう声が出ていますので。

《未使用のグラウンドの整備》

意見 恐らく生徒数が多い時代のことだったと思うんですけれども、第2グラウンド

ができて、グラウンドにテニスコートがあります。そのテニスコートに係る整備というのを、今ですとグラウンドに水たまりができちゃうくらいなんですけれども、実際テニスコートとして使用するにはものすごい予算がかかるというふうに伺っております。ただ、山田中学校だけではないと思うんですけれども、ほかの川越市内でもやはりテニスコート、周りに雑草が生えていたり、かなりの凹凸があるというグラウンドも見受けるので、その辺の整備についてはどのようにお考えになっているのかというのが1つあります。

それはテニスコートだけではなくて、第2グラウンドには以前はバスケットコートがあったんですけれども、そのバスケットコートを、今部員もいないということでかなり前に廃部になりまして、今そこに山田中の農園をつくって、生徒たちの総合的な時間で、サポート委員の方々と一緒に作付をしているんですけれども、やはりそれにも限界がありまして、授業の中でやるとものすごい広げるのはよくない。かと言って、荒れ放題になってしまう。では、それをだれが整備するのかということ、やはりPTAとサポートさん、それから、地区の方々のボランティアがすべてなんですね。それにも増して、では今度テニスコートまで自分たちの力で整備できるかということなかなかできないものですから、その辺の使わなくなったというか、今使用してない、荒れ放題になっている、そういう校庭問題とかはどのようにお考えになっているのかなというふうにちょっとお聞きしたいと思います。

学校教育部長 私が山田中学校の教員でいたときの、20年くらい前でしょうか。

意見 一番多いときですね。

学校教育長 そうですね、一番、たしか5クラスくらいだったですよ、あのとき、グラウンドで問題があって、自主的にいろいろ管理していただいていた時代が確かにあったですよ。

基本的に、学校のことなので、校長さんに聞いたわけなんですけれども、場合によっては、いろいろな部分で校長さんが相談を、例えば教育財務課のほうに相談をかけるとかいろいろなケースがあると思うのです。ですから、そうした部分は、学校はどう思っているかという部分はちょっと私もわからない。道路整備の関係とか、あるいは校庭の整備の關係の担当ではないものですから、詳しいことはわからないですけれども、校長さんがどんなふうに考えているかによってまたそうしたことは違ってくると思うし、あと可能な部分でやっていける部分が教育委員会でどこにあるか、ちょっとまたわからないものですから、恐らくみなさんが感じている部分と、また校長さんの感じているものがあると思うので、そこらを聞いて、対応ができるかどうかというの

はまた教育財務課のほうに相談は必要だったらしなければいけないと思いますけれども、いかがでしょうか。

意見 わかりました。

学校教育部長 あともう1個も同じですね、農園の問題、逆に言うと、山田中のあそここのところは、かなり場所としては農園というか、そうした部分で使えるスペースが非常に多いというので、学校によっては校庭の一部を、今例えば生活科だとか総合的な学習の時間なんかで使いたい場所がなかなかない場所があったりして、学校の外に借りているケースがあったりしているのですけれども、そうした部分で有効利用しようという部分がもしかしたら校長さんにあるのかもしれませんが、そこいらどうなんでしょうか。ちょっと私はわかりませんが。

意見 実際には、もう去年もそうなんですけれども、日中は教職員がほとんど草刈り、整備しています。その整備に当たる、もう人ではできないレベルなので、整地するに当たっても、そういうときには本当に地域の方に、芝刈り機ですよね、業務用の芝刈り機をわざわざ持ってきていただいたり、重機によって整地をしたりしているのが実際のところなんですよ。

御存じのとおり、山田中学校の第2グラウンドにも樹木が四方にあるんですけれども、その樹木もものすごく大きくなって、その伐採もすべて地域の人とPTAでやっている次第なんです。これが本当にどこまで伐採していいのか、業者さんを入れていいのか、もちろん学校内の剪定とかはしていただいています、今までどおり、市のほうでやっていますけれども、樹木の伐採というのが山田中学校には行事になっちゃっているんですよ。

そのときには、僕が会長になってからは、正直言って、授業の中で生徒にこういうふうなグラウンド整備している地域の人たちと触れ合う時間だよなんて言っている場合ではなくて、チェーンソーを持ってこないとしてもじゃないけれども、伐採できない状態になっているので、そういうレベルにもうなっているんで、各学校によって確かに違うでしょうけれども、山田の現状はそういうことがあるということ、それが意外とサポートさんにも負担になっているんです。ですから、本来、小学校のこともいろいろ見なくてはいけません。中学校も見なくてはいけません。そうすると生徒に負担がかかってくるし、父兄にも意外と負担がかかってきているという、それは校長も知っていることなんですけれども、それを実際に市のほうに上げていっているのかということになると、私は申し上げてないんですけれども、この場を借りてちょっとお聞きしたいなというところがあります。

学校教育部長 学校の校長さんの考えもあるでしょう。自主的に相当剪定しなければいけないと言ったときに、剪定するだけではなくて、過剰に木が多い場合にはある程度間引かなければいけない部分も出てきますので、自主的にできるものは私もやりました。一概に、学校によってやり方が違うでしょうから、そうした部分はまた相談させていただきたいと思います。

意見 だんだん過剰になりつつあるというのが現状なので、その辺の認識だけちょっとしていただければと思います。

学校教育部長 わかりました。PTAのほうはいろいろ応援してくれていることで、地域のほうのサポート委員会も。

意見 サポート委員会さんがいなければ、あのグラウンドは、今の現状は維持できないと思っております。

学校教育部長 ありがとうございます。

意見 こちらこそ。

《火の見やぐらの撤去》

意見 あと2点あるんですけれども、1つは、川越市内、防災無線がかなり整備されています。それに伴って各字町にある火の見やぐらの撤去、もしくは今後火の見やぐらの活用方法が何かあるのか。これは恐らく消防とか、そういうところもかかわってくると思うんですけれども。先日、上寺山の自治会の総会でもちょっと提案で、今後そういう問題で老朽化、住宅密集地にあれだけの火の見やぐらがもしあった場合、撤去するにも費用等もかかってくるだろうし、危険というところになってくるんじゃないかというふうに考えています。実際に自治会でどのくらいの負担があって、そのほかに市のほうでどのくらいの助成があって、どういう形でああいうものは撤去すべきものなのか。自治会の所有であるというのはおぼろげにわかるんですけれども、その辺のところ、新たな整備をしつつ、古いものの撤去という問題をどういうふうにお考えになっているのか、ちょっとお聞きしたいなというのがあります。

市長 火の見やぐらの撤去については、もう要らなくなっていて、要するに使っていない火の見やぐらが多分市内で100くらいあるのではないかと思います。それについて消防が主体になって少しずつ撤去を進めていると思いますが、撤去についての補助金のようなものが多分あったと思います。ただ、これは正確な記憶ではないので、その辺については消防に調べさせてご連絡します。補助金の制度があるのかどうか、あるとしたら、どのくらいの補助が出るのか、それは後ほどご連絡します。多分、1基撤去するのに80万円から100万円くらいかかるのではないですか。そんな話を聞いたこ

とがありますけれども。

《下水道の整備》

意見 あともう1点よろしいですか。僕の勉強不足かもしれないんですけども、今、開始から道路の話等々がありますけれども、大きな道が整備されつつあっても、山田地区の下水道の完備がどの程度進められるのか。今後そういう計画があるのか。その辺のところ、住宅のほうも上寺山地区はかなり増えています。ですけれども、そういうところの整備がなされていないというところもありますので、その辺の大まかな計画がある、なしでも構わないので、お聞かせ願えればと思います。

市長 下水道に関しては、整備計画地域というのか、下水道を整備していく地域がもう決まっているのですね。その範囲の中の下水を完成するには今のペースでやっていると50年以上かかってしまう、そういうこともあって、2年くらい前に、県のほうからはっきりさせて、平成37年までには必ずやる部分とそれ以降の部分に分けなさいという形で、そういう報告を県に出したという事実は覚えているのですけれども、山田地区が下水の計画地域に入っているのかどうか、入っているとしても多分全部の地域ではないと思うのです。それについて何年までの計画の中に入っているのかどうか、ちょっとそれについても調べてみないとお答えできませんので、下水のほうからご連絡します。

意見 僕のレベルであつたらいいのですけれども、子供たちの時代ということを見ると、恐らく住宅を建て直さなくてはいけないということが問題になってくると思ったので、今ちょっと質問させていただきました。ありがとうございます。

《防犯灯のLED化》

意見 ちょっと内容は変わりますけれども、府川の例でいいますと、ほかの自治会も同じだと思います、防犯灯が、外灯ですね。府川の場合大体90くらいあるんですけども、2年から2年半くらいで必ず切れて交換するという、修理するというタイミングなんですね。それで年間ですから、大体30から40件くらいの修理をやっている。それにかかる費用は約10万円近くかかるんです。そのほかにももちろん外灯は電気代というのがあります、府川の場合だと30万円くらいです。市のほうでそのうちの20万円くらい補助していただいていますから、10万円くらい負担して、修理と合わせると年間20万円かかっているという状況なんですね。それで、これは業者とちょっと話した範囲なんですけれども、LEDの外灯にすると大体3倍くらいはもつだろう。2年に1回修理しているのが、6年とか7年とかもつだろう。電気代ももちろん安くなるということもありまして、それで修理代が3分の1くらいになるというこ

とは自治体としては非常に助かりますし、電気代も助かるということもありまして、せめて器具が壊れたのをつけ直すとか、それから、新しく取りつけるようなところに関してはLEDを使った外灯を押し進めるという方法にしてもらえないか。それで自治会費のうちの15%くらいは防犯灯に使っているような状態ですので、非常にもったいないと言ったら変ですけれども、できれば減らしたいというのがありますので、ちょっとそういうところを検討してもらえないかと思います。

市民部長 市民部のほうの所管でございますので、私のほうから答えさせていただきます。昨年度23年度に補助をもらいまして、LEDを700灯、防犯灯に入れさせてもらいました。川越は防犯灯が約2万灯あります。それで補助をいただいたので700灯という形でやらせていただきました。そのときの700灯入れたときに3万5,000円、全部の器具から含めまして初期投資がそんなにかかりますので、それで今年とりあえず1年間かけてLEDの整備計画をつくろうと。仮に2万基を全部LEDに変えた場合、今3万5,000円がちょっと下がっていますから、そんなにかからないと思うのですが、それを全部変えた総費用、それとあと修繕料が、先ほど言いましたように2年から2年半のものが7、8年もつということですから、その修繕料が浮きます。それと今の電気料が20ワットで契約しているのですが、実際には40ワット払っているんです。つけた時間帯ではなくて、一律1灯で幾らと決まっているのです。今月は幾らですよと決まっていますので、40ワットにすると高いのです。それがLEDになりますとかなり安くなりますので、それで霞ヶ関北に700灯入れたときの電気料が年間で108万円くらい浮いたそうですから、かなり自治会のほうには修繕料の負担も、あと電気料の負担も軽減される。また、市の修繕料と電気料の自治会の補助も軽減される。ただ、初期投資がかなりかかりますので、実際に初期投資を全部やって変えた場合と、その後10年後、20年後でどのくらいペイできるかというのは全部計算させていますので、それから、今後どうしていこうかと考えています。とりあえず毎年70とか80くらいはLEDに変えていますけれども、2万基の70、80くらいで変えていますと何年かかるかわかりませんので、それを市としてLEDの方向にもっていくような形での試算は計算していますので、できれば今年度中に方針は出していきたいなと思います。ご理解いただきたいと思います。

意見 わかりました。

《道路の安全対策》

意見 石田、府川の有賀園さんのところの戸建ての先の道路の話があるんですが、そのとき担当の方にも言ったんですけれども、石田のほうから歩いたり自転車で結構使

っているんですね。その道路、有賀園のところの先ですね、なぜかという、あそこ狭くなって、右折車線3車線になる。康正会病院のほうから来ると3車線で寄ってくるので、みんな危ないので、あそこの閉鎖しようとしている道路を使って横断しているんです。そこを、決まったことに対して言うあれはないんですけれども、説明する段階で、住民からどう通ればいいのかと言われたときの参考として、歩道をつけるとか、そういう計画があるのかとか、実際通るんです、中学生も自転車で通っているので、あそこを使っていますので、どう対処していくのか。

建設部長 今の話は、恐らく有賀園のところの交差点のところに入ってくる1本、川越市道があるのですが、それを廃止するしないのお話のことだと思うんですけれども、確かにご承知のとおり、山田地区としてはあそこの道が逆にあることによって交通事故の原因の1つにもなっているのではないかとということで、廃止ありきという方もいらっしゃいますし、片や、今お話がありましたとおり、お子様たちが通学路として通っている中で簡単に廃止していいものか。あるいは廃止するならするで、交差点の子供たちの歩行者の安全確保をどうしていくのかということも確かに大きな話だと思うのです。あそこについては、具体的に歩道はない状況でございますので、歩道と今回廃止する道路とをラップして整備できるかどうかはわかりませんが、かなり254を渡ってくるお子さんたちも多いのは事実でございますので、今回廃合する、しないの話とはまた別に、あそこの安全対策につきましては、今現在の状況ですとか、今後の考え方につきましては、いま一度精査した上でご回答させていただきたいと思いますが、私部長個人としてもあそこの場所の歩行者の安全確保については十分何かしら検討する必要があると認識しております。それをもとに、具体的にまたいろいろ地元の皆様方のご意見をいただきながら、改善策、善後策を検討してまいりたいと思います。大変いいきっかけをつくっていただきましたので、今後ぜひいろいろなご意見をいただければと思います。

《古川排水路の水害対策》

意見 二本松、地理的には府川の釘無橋の下流ですね。そこに古川という川が城西高校の前を流れていますけれども、その二本松と菅間の方に堰があります。その堰ができたのが私の記憶ではもう30年くらいになるんですかね。その堰で水をためて、そこが増水したらば、そこからポンプアップをして入間川に放流するという堰があると思います。今年もそうなんですけれども、城西高校の周りの古川ですね、あそこが今年2回か3回氾濫しています。田んぼにも冠水していますし、道路も水がきています。それから、川越市で東環状線を計画していますね。東環状線の現状の道路ですね、

あそこも何回も水が道路の上を越えていまして、交通不可能というような状況が何回か記憶しています。当時、あの堰ができたときには、これ私の記憶ですから、定かではないんですけども、山田に市議員さんが3名おりまして、その方々の説明で、地域にはそういう被害は絶対に生じないという上であの堰ができたわけです。今回の北環状線の福田地区の買収のときに県議さんとか市議さんが来て説明いただいたんですが、そのときの県議さんが、私もそのことについて質問しましたらば、上江橋の上流にすごいポンプアップの装置がもうあと何年かで完成する。そしたらば、あの釘無の堰なんかはすぐ撤去しちゃうよ、そういう回答をいただいたんです。そういう状況で、何らそういうアクション、いまだかつて起きてないわけです。今年も2回か3回冠水していますし、ちょっと大きな台風がきますと、城西高校の東のほう、稲がほとんど隠れるような状態の場所があります。それから、二本松の地域に行きますともう床上浸水、そういう情報がありまして、古川の堤防のようなものがありますね。それをかさ上げして応急措置をとっているみたいですけども、せいぜいかさ上げしても50センチかそんなものだと思います。そういう状況ですので、早く堰を何とか撤去できる方法があるのかどうか、ちょっとお聞かせいただきたいと思います。

建設部長 古川は手前どもの河川課というところが担当して管理をしているところでございますが、大変恐縮ですが、ちょっと私今の二本松のところの堰の件、認識不足で大変申しわけございませんでした。それにつきましても今課題をいただきましたので、担当部署の課長とともに今のお話を確認した上で、今後の堰のあり方、存在そのものの可否について、一度地元の皆様方のご意見をいただきながら、ちょっと勉強させていただければと思います。早急に答えが出せなくて大変恐縮ですが、ぜひ問題提起いただきましたので、その堰のあり方につきまして改めて勉強させていただきたいと思います。当然、いずれにしても地元の災害等にかかわる大変な、重要な問題だと思います。

意見 なおかつ用地買収云々の計画があるところですから、道路ができるということはそこに堰というか、段ができちゃうわけです。ですから、どうしても水というのは上流から下流に流れてきますから、東環状線が完全にでき上がりますと、北山田の部落の北側の田んぼと、それから、府川の北側の田んぼ、これは全部冠水しちゃうと思います。要するに古川が水が吸えないわけですから、古川自体が氾濫しているわけですから。ですから、東環状線ができた時点で、必ずそういう集中豪雨云々、想定外云々というのはよくニュースで出てきますけれども、そういうあれではなくても、通常の集中豪雨がありますとそういう危険度をものすごく含んでいると思いますので、その

辺早急にご検討いただければと思います。

建設部長 古川排水路につきましては全線が完成しているわけではなくて、釘無橋を超えた排水機場あたり、あの辺がまだ未整備の区間がございますので、そういったその局所的な場所だけの話でなくて、古川の流域全体の問題ととらえて、その中であそこをどうするのかということでお話をまとめていきたいとは思っております。

市長 その堰のところには本来の目的である水を入間川のほうにポンプアップする、そういうポンプの能力が足りないということですか。

意見 能力がないと思うんですね。必ず大きな台風がきますと、もう古川はほとんど、城西高校の東側のほうは道路に冠水していますので。

《自主防災組織への補助》

意見 自主防災組織のことでちょっと聞きたいんですけども、府川は自主防災組織を持ってしまして、毎年、ここ3年くらい体験会ということを実施しているんですけども、そのときには市のほうの補助というのを、防災危機管理課ですか、お願いして受けております。今年は山田消防団と一緒に支会全体でそういう体験会をやるという計画をし始めているんです。ところが、実際に防災組織があるのは府川と石田と、あと1つくらいで、つくっていないところもあるという状態ですね。そういうところも一緒にそういうのをやりたいということなんですけれども、そういう集合体でやる場合に、市からの補助とか、そういうものを受けられるかどうか、その辺の考え方も教えていただきたいんです。

総務部長 正確には私不勉強で申しわけないのですが、現状、お話しいただいたように自主防災組織をつくっていただいた団体に対して、結成時の補助金と、それから、活動補助という形で補助させていただいております。基本的には、ご指摘のとおり、自主防災組織に対する補助という認識をしておりますので、全体で支会を集約した形でいう場合に、地域によっては幾つかの自治会さんがまとまって自主防災組織をつくられているところもあると聞いておりますけれども、そういった形で自主防災組織として届け出をしていただければ、その団体に対して出すことは可能だと思うのですが、現状は自主防災組織単位と言えるのではないかと思います。

意見 例えば8つの自治体があって、3つは一応組織を持っている。それが一緒にやるというときに、組織ごとにそういう補助は出せるけれども、まとまっては出せないということですか。

総務部長 現状の補助要綱の中身からいきますと、そういった形になるかと思われま

意見　　そうですか、では逆に言うと、そういうやり方をやっても組織ごとには出せるということと言えますか。

総務部長　　一定の頭打ちはございますけれども。活動費という形では恐らく対象になるのではないかと思います。

意見　　というのは、組織ごとに申請しろということになりますよね。逆に、今、自主防災組織をつくるような方向で、全体としてはつくったほうがいいという方向で今進んでいますね。そういう中で、つくってないところも一緒にそういう活動をやるということは、ないところにつくらせるという意味では非常にいい活動だと思うんですね。そういうときに、ないところには出せないよというやり方でやっている、ないところはなかなかできてこないんじゃないかと思うんですね。ないところは、少なくとも一緒にやって、ああ、こういうことをやっていけばいいんだということがわかれば、新しく組織をつくろうという気になりますよね。だけれども、そういうことに関しては全く補助はしない、そこに関しては。ちょっと僕はその辺は、もうちょっと大きい目で考えてもらえるような方法はとれないかというように思うんですけれども。せっかく山田全体でそういうことをやろうというときに、組織ができているところにだけは補助は出しますよ。できてないところには出さないよというのは、何となく狭いお役所仕事ということになっちゃうんじゃないかと思うんですよね。ですから、その辺もちょっと考えてもらえないかなと思うんですけれども。だめと言うのだったら、だめでももうしようがないですよ、それは。

総務部長　　現状、川越市内で自治会さんが280幾つかあったかと思います。先ほど申し上げたとおり、自主防災組織は自治会単位でつくられているところが多いのですが、幾つかの自治会さんが集まった形の自主防災組織というのも幾つかあると聞いております。今170弱くらい、今年度も幾つか届け出がされているようですので、約170団体くらいの自主防災組織が現在川越市にございまして、今現実にできている自主防災組織に対しても、その当時、結成時にはいろいろ活動していただいてつくっていただいておりますけれども、そのときに結成の段階で一定の金額の結成の補助をするという形で進めてまいりましたので、大方今市内の自治会の単位でいくと60%強の組織をつくってございまして、それらの団体さんには結成前の補助はしておりませんので、そういう意味からいたしますと、確かに今、会長さん言われたように一部分ではご指摘のとおりだと思うのですが、既に活動されている自主防災組織とのバランスというのもございまして、なかなか簡単にそうですねとは言いづらい部分がございます。

意見 わかりました。

《夜間診療、公民館・出張所の建て替え、公園の設置》

意見 山田地区は新しい人というか、若い人が結構移り住んできておりまして、住んでみたい川越ということで新しい人が山田地区もたくさん来ています。そういう人たちの声が、まず、山田は公園がない。それと今は核家族化で若いご夫婦が住んでいても、夜中に子供、乳児が熱を出したとか何かあったときにどこへどういうふうに連れて行っていいのかわからないということが、そういう若い人たちには声が聞こえてくるんですけれども、川越市においてはそういう点はどういうふうに思っているのかということと、それから、私も公民館を少し利用させていただいておりますけれども、薄暗くて、バリアフリーもないし、年寄りも2階に上がってくるのが大変だ、つえをついて上がっているんですけれども、公民館と出張所の併合みたいな形で新しく建てかえることはあるのか、ないのか。それで今車社会ですので、皆さん車で公民館へ来たり出張所へ来るんですけれども、公民館のほうへたくさん車が来ると、出張所のほうへ入ってくる車が全然置けないというような現状なんですね。頭から突っ込んで、後になってどいてくださいとか、そういうような状態が今続いているんですけれども、今のところ、山田の公民館、それから、出張所、そういうふうな建てかえということは考えているのかいないのかということ。それから、土地も狭いと思いますけれども、健康に暮らすためにはある程度運動とか、名細にできましたけれども、山田も河川がありますので、そういうところの河川の中を、平塚橋のところはソフトボールの方々が大変利用しているんですけれども、あれの下流のほうへちょっと延長して、安比奈公園のミニ版でも結構ですけれども、そういうものをつくる予定はあるのかなということをお聞きしたいんですけれども。

市長 公園については、今の芳野台の工業団地の裏側の入間川の河川敷は国から借りられることが決まっています、そこにグラウンドを整備していくという、そういう予定があります。いつごろまでにどの程度の整備が進むのか頭の中に入っていないのですが、そんなに遠い将来ではない、数年のうちに一定程度の使える部分はできるような、そういう計画だったと記憶しています。

それから、子供さんが病気になったときの対応等については、市民便利帳（川越市民のしおり）を配っていましたよね。あれを見ていただければ、載っているかと思うのですが、今、市では休日夜間の小児科診療かは、オアシスの向こう側にできた医師会館の中で医師会が運営主体になってやってくれていますので、そういう情報はいろいろ広報などかでお流ししているはずですが、もうちょっと情報を流して皆さんにわ

かるようにしていきたいと思えます。

あと公民館と出張所の合体の問題ですが、市民センター構想というものがあつて、今高階、名細、それから、今建設中のが大東にあるのですが、そういうふうな形でつくつていこうというプランはありますが、まだ大東の後、どこにどうするという、そういう具体的なものはない状態です。

公民館もみんな古くなって、バリアフリーでもないし、みんなぼちぼち建てかえ時期、特に芳野は今ある公民館のうちでは一番先にできた建物だと思つるので、いろいろ財政の問題もあつて苦労しているところです。

意見 わかりました。

《公園美化活動の補助》

意見 今公園の話が出ておりましたけれども、おかげさまで南山田につきましては、昨年から南山田公園の土地を整備していただいて、早速、今日から植栽をしていただいたということで、五百何本四方に植えていただいてすばらしい公園になるという、今も見てきたんですけれども、ありがたいことだな、そういうふうにおつております。本当に公園整備課の皆さんにご協力いただいて、そういうことが南山田にできて、そしてこれが山田地区全体で活用していくということになれば、すばらしいことだなと思つております。そういう中で一番地元として感じますことは、これもまた予算の関係のことになるんですけれども、今あの広さですと、年間公園美化活動の費用として約4万円ほど市のほうからいただけるわけなんですけれども、それ以外に除草とか落ち葉の清掃とか、これは季節によっていろいろ違ってきます。今も相当除草が必要になってきている、そういう状況がありますので、ちょっと4万だけでは不足ということではっきり見えておつて、何かそういう方法で、臨時的にこういうことで、例えば高齢者事業団の方を頼んでこうしたとかというときには多少そういう道があるのかどうか。それをお聞かせいただければ、これから非常にありがたいなと。南山田公園、せっかくこういうふうにしていただいたので、できるだけきれいに有効に使えるように保つていきたい、そういう気持ちで私も今いるわけなんですけれども、そういうことで何か示唆をいただけたらありがたいと思えます。

建設部長 所管は違つますが、南山田公園については私も昔ちょっとかかわつたことがあるものですから記憶しているのですが、今現在まだ暫定的に造成が終わつただけで、今おっしゃるとおり、まさに最後のデコレーションにかかっているところなものですから、これは公園整備課というところが窓口になりますが、公園整備課としてはあそこの公園全体の年間の管理の仕方についても一定的のルー儿的なものは

まだできてないのじゃないのか、今整備中なものですから、暫定的に見ているというところもあるのじゃないかという気がしました。ただ、いずれにしましても、そういった疑問があるということですので、公園整備課から、そういったことを懸念されているということですので、今後の除草等を含めた公園の管理のあり方について、どういふふうにしていくつもりなのか、自治会さんのほうへお知らせいたします。

意見 大体はお聞きしているんです。遊具のほうも早速今年度の予算で1,800万円ということで、本当にありがたいと思っているんですけれども、そういうことで上手に使っていきたいと思っていますので、では、私のほうからもお聞かせいただきたいと思います。

《初雁球場》

意見 今、公園のほうの話が出ていますけれども、名細ですか、資源化センターのところに大きな公園ができる。それから、その付随した設備としてグラウンドが少年野球だとか、総合的なグラウンドができるという話を聞きました。それに伴いまして、初雁球場のほうが開鎖になって取り壊されるというような話も私聞いたことがあるんですけれども、そこはぜひとも残しておいてもらいたいなと思います。なぜこんなことを言うかということ、少年野球のほうへちょっとかかわっているものでありまして、できましたら、そこを少年のためにも残しておいてもらいたいと思います。

また、今日から高校野球が始まったんですけれども、あそこのところはかなり老朽化しているせいか、初回の1試合、2試合、ですから、2回戦あたりまでは使うんですけれども、それ以降になるともう飯能だとか新しい越谷とか、そういったところで試合が持っていられる、初雁球場はもう対象外だよという話も聞いています。そういうことで整備しろということではなくて、球場として川上さん、そういう人たちも来てやったというほどの誇りある球場ですので、取り壊すことのないようにひとつお願いしたいなと思いますが、いかがなものでしょうか。

市長 初雁球場はぜひ残してほしいという、そういうご意見も結構寄せられています。今どうするかについては全く未定の状態で、初雁球場、あそこを廃止する場合というのは、ほかのところにきちんとしたスタンドのある球場をつくるときには、あそこを廃止する、そうなると思いますので、名細のグラウンドができたからといって、初雁球場を取り壊すということはないです。

意見 今のところない。

市長 はい。ただ、初雁球場は昔つくった球場なので、若干今の規格より狭いようですよ。センターは110メートル、今の球場はみんな120メートルあるそうです。両

サイドがたしか 91 メートルしかないのかな。というわけで、あそこは高校野球は 1 回戦しか使ってくれないということになったようですよね。

意見 そんな事情ですけれども、できるだけ取っておいてもらいたいなと思います。

《総合防災訓練の際の備蓄品の支援》

意見 先ほどお話がありましたとおり、12月の第1日曜日という日にちは決まっていますが、山田地区の総合防災訓練というのを支会のほうの主催で、山田分団のほうの協力ということでやらせていただくことになりました。それで、市の防災課というか、どこかわからないんですけれども、要するにアルファ米ですとか、乾パンですとか、そういったものの提供をしていただけるのかどうかということをお聞きしたいと思います。また、そういったときはどこへお願いすればいいのか。すみません、よろしくお願いします。

総務部長 備蓄品ということだと思いますけれども、実は昨年の中日本大震災の影響で、かなり川崎市からも被災地のほうに支援をいたしました。その関係で備蓄品の在庫が少なくなりまして、昨年のお終いくらいから、余り備蓄品といいますが、そういうアルファ米であるとか、備蓄しているものの提供を求められている自主防災組織等がございましたけれども、なかなかおこたえできなかった部分がございます。それ以後、今年度に入ってから順次買い足しをしております、それなりの量は一定の量確保されておりますけれども、ここでやはり地震の影響で、ほかの自治体でもそういう足らなくなったものを補うというところが増えまして、単価的にかかなり上がっているという状況も一方でございます。ちょっと私も細かい数字は今持ち合わせておりませんので、12月1日の山田地区の総合防災訓練ということでございますので、担当のほうに伝えまして、所管は防災危機管理課でございますけれども、ご連絡させていただきたいと思いますが。

意見 ありがとうございます。

《ごみ処理の有料化、ごみの収集方法》

意見 この間、先週ですか、ごみ処理の有料化ということで講演会がやまぶき会館であったんですけれども、市でやられるというか、連合会でやられているということは、先々そういうことを考えていらっしゃるのかなという気持ちで聞いてきました。実を言うと、山田地区、我々のそばでもなかなか、家ができたりして、それでごみの集積場所をつくるというのは結構抵抗があったりしますし、それから、高齢化になっているものですから、ごみを遠くまで持って行って出すというのも結構大変だという方もいらして、そういうこともあります。有料化、最終的にはある程度聞きましたら、今

全国の自治体でも半分以上はやられているという話を聞いておりますので、いいんですけれども、この間も講師の先生の話をお聞きすると、最終的には各個人の家に取りに来てもらうという、要は家の前に置くというやり方が一番効果大きい。それから、そういう集積場所をつくる必要もないし、それは市としては回収の方向については結構大変だと思いますけれども、やはりそういうやり方を前提にして、有料化というようなことをすれば、ある程度理解してもらえないかという気もするんですね。そういうことを含めて、市のほうで大きな計画的なものを、もちろんこの間の話ですと改めて打ち合わせをするチャンスをつくるというような内容になっていましたけれども、市としてある程度計画性を持っていらっしゃるのかどうかというと、持っているからああいうことをやったというように私は思っていますけれども、ちょっとお聞かせ願いたいと思います。

市長 ごみの有料化というのは、ねらいはごみの減量、要するにお金を払うのだったら、なるべく出したくないという、そういう方向で皆さんが考えてくれてごみを減らせるという、そういう目的で検討を進めているところです。その諮問委員会に有料化すべきなのかどうかということや、もし有料化したときに、どういう方法で料金を徴収するのかなど、そういうことについてご意見を皆さんで議論してまとめてもらう、そういう手続を進めている中での講演会という、そういうことになります。ごみの収集方法を、今の集積所に持ってきて、そこに取りに来るという方法のままいくのかどうかという点については、今の諮問委員会のほうに諮問を出しているか、収集方法については多分出してないと思うのですが、いろいろ皆さんのご要望とかご意見が変わってくれば、それはそういう収集方法を変えるとか、そういうことについても検討はする、そういう考えはあります。

意見 わかりました。実を言うと、やはり山田地区は結構広い畑とかそういうところがあるかと思っておりますので、個人的に燃しちゃうとか、そういうことも起こり得る可能性もありますし、それから、逆に、生垣みたいなところをできるだけ緑を保つという意味で推奨すると、そういうのを手入れすれば必ずごみが出るという、そういうことなんかも考えますといろいろ問題があるんじゃないかと思うんですね。ですから、ちょっといろいろその辺は相談に乗っていただきたいなと思います。

市長 収集方法とか、そういうものについてもいろいろなご要望が出てくれば、検討の対象にして考えさせていただきます。

皆様方からさまざまな活発なご意見ご要望を出していただきまして、どうもありがとうございました。山田地区のこのタウンミーティングが特に多くご意見、ご要望が

出たのではないだろうかと、そんな印象であります。いずれにしましても、ご要望等につきましては対応できるものはなるべく早く対応していくという、そういう姿勢で臨んでまいりたいと思いますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございました。